

# いそぽ物語の原典の系統について

〔その Ⅰ〕

——天草本下巻話の一参考資料として——

遠 藤 潤 一\*

What version of Aesop's Fables in Latin was translated into  
Japanese by the Jesuit missionaries in the 16th century?

(PART II)

——On some illustrations of the original Latin fables on which a  
Japanese translation is based, the translation being  
*“Esopono Fabulas (last volume)”*——

Jun-ichi ENDŌ

## はじめに

今回は、天理図書館蔵『Aesopi Phrygis Fabellae Graece et Latine』(Basileæ, in officina Frobeniana Anno MDXXXIII)の寓話部における第1寓話集であるギリシア語ラテン語対訳149話の中から天草本(ESOPONO FABULAS)下巻寓話の該当話32話のラテン語本文を抽出してその影印を掲げ、天草本下巻話についての一参考資料としての意義を述べたい<sup>1)</sup>。

### 1. 天草本下巻話の参考資料としての意義

この1534年刊ギリシア語ラテン語対訳イソップ寓話集はまず巻頭にギリシア語ラテン語対訳のイソップ伝を掲げる。そして、その表題には「マシモ・プラヌデ編(作)による」という但し書きが付いている。次に寓話部に入り、その第1寓話集であるが、それは「AESOPI FABVLAE」と題して「Aquila & uulpes」(鷲と狐)に始まり、「De culice, & Leone」。(蚊と獅子)に終るギリシア語ラテン語対訳149話である。次に第2寓話集であるが、それは「GABRIAE GRAECI TETRASTICHA」と題する43編の対訳寓話詩である。これはBabrius集抄と考えられる。その後には「Ex Aphthonij sophistæ exercitamentis」等の6種の短文が置かれ、その後には「HOMERI RANARVM ET MVRIVM PVGNA」等の対訳の長文等が置かれている(以上影印のINDEX参照)。この本でイソップ寓話の主体となるのは第1・2寓話集である。筆者はかつて土井忠生博士に、『吉利支丹文献考』(昭和38年・三省堂)の「三 天草版伊曾保物語」および「四 天草版金句集」の章に見える1505年ヴェニス刊の一本の借覧を請い、それを拝覧する機会を賜

\* 国文学研究室(昭和58年9月27日受理)

ったことがあるが、その本（Aldus 版）はこの系統の初期のものと思われる。

ところで、この第1 寓話集対訳149 話はギリシア語本文の冒頭の1 字によってA・B・Γ 順に配列されている。これは Babrius 集の寓話詩配列方法と同じであると言える。しかし、第1 話から第62話まではA・B・Γ 順が概して保たれていると言えるが、その後は乱れが多くなる。この問題の背後に何かあるのかは筆者の資料および知識の範囲では推測が困難であるが、最初の部分すなわち第1 話から第62話までは配列の乱れが少なく、また、AからΨまでの話が見えるが、それと共に次の点でも注目する必要がある。すなわち、この範囲の中の38話（61.3%）は Remicius 集100話に該当話が見出され、それだけではなく、その共通話（該当話）の先後順は両者一致するのである。また、この点のほかに、対訳149話の付加教訓が「Fabula significat——」で始まる点も Remicius 集100話の場合と共通する特徴である。また、共通話の本文にも類似性が強いと言える。

このように第1 寓話集対訳149話には Remicius 集100話との類似性が認められるのであるが、両者の間にはどのような関係があるのであろうか。Remicius 集は1474年にイタリアのミラノのアントニウス・ザラトゥスが刊行したラテン語イソップ寓話集であるが、それは14世紀の前半（1327年）に Planudes がコンスタンチノーブルからイタリア（ヴェネチア）にもたらしたギリシア語散文イソップ寓話集稿本（イソップ伝および寓話）をラヌツィオ・ダレッツォがラテン語訳したものとされ、その名前から Renutius と呼ばれたが、後に Remicius と呼ばれるようになったものとされている。また、イソップ寓話集の巻頭にイソップ伝を掲げる慣習は、この Planudes 本のラテン語訳刊本である Remicius 集以来一般化したものとされている<sup>2)</sup>。

そうすると、その Remicius 集との類似性が認められるこの第1 寓話集ギリシア語ラテン語対訳149話は Remicius 集と同様に Planudes 本を原典とするという関係にあるのかということになる。

この1534年刊ギリシア語ラテン語対訳本は前述のように巻頭に Planudes の名が見えるギリシア語イソップ伝（ラテン語対訳）を掲げているのであるから、この本が Planudes 本の系統かということは容易に想像されるところであるが、実際はどうなのであろうか。ラテン語訳本 Remicius 集に対して、その原典のギリシア語散文 Planudes 本の方は1480年頃に Buono Accorso によってミラノで刊行され、それは Accursius または Accursiana と呼ばれ、それ以後のギリシア語本文を載せる近世刊本はみな Accursius 集を増補したものとされる。その代表的な刊本の一つに1610年の Nevelet 編『Mythologia Æsopica』がある。その寓話部の第1 寓話集はギリシア語ラテン語対訳寓話297話であるが、実際に見るとわかることであるが、まず対訳149話が掲げられ、その後、やはり対訳で148話が増補されているのである。そして、前者の対訳149話は筆者がここに挙げる1534年本の対訳149話と同じものである。そうすると、1534年本の第1 寓話集対訳149話のギリシア語本文は Planudes 本の刊本である Accursius 集の系統のものと考えられることになる。このように考えることによって、対訳149話の Remicius 集100話との類似性の背景がわかる。また、1534年本のイソップ伝の題辭に「Planudes の編(作)による」とあるのは、この本の上述のような出自がそのような伝承を生むに至ったものと考えられることができる。

この第1 寓話集対訳149話には天草本下巻話45話の70%以上の32話の該当話が見出せる。しかし、それだからといって、この対訳149話が天草本下巻の散文原典と同種のものと考えられるということではない。原典の問題として考えるには、残りの13話の問題が残され

ている。また、話順の対応という問題も残されている。

だが、視野を広げて、天草本下巻話の系統・性格という観点から見た場合、下巻話の70%以上もの該当話が見出せるという点において、この対訳149話は見逃すことのできない参考資料である。一つの寓話集の中にこのように多数の該当話を見出すことができ、そして、その寓話集が天草本と時代的・系統的に何らかの関係を有すると考えられるものとしては、筆者にはこのギリシア語ラテン語対訳149話の他には管見に入らない。そのイソップ伝も、天草本の場合と同様に、題辞に *Planudes* の名を掲げている。

なお、この対訳149話に該当話を見出せない下巻話は上述のように13話有るが、それらは、*Romulus* 集系の寓話集に該当話を求められるもの9話、*Remicius* 集100話に該当話を求められるもの4話となる<sup>3)</sup>。天草本下巻話は系統的に決して単一なものではないのである。

筆者はすでに、天草本下巻話45話のすべての該当話が見出せる本として、天理図書館蔵『*Aesopi Phrygis, et Aliorum Fabulae*』(Lugduni apud seb. Gryphium, 1542.)というラテン語本を取り上げ、考察を加えたり<sup>4)</sup>。そのラテン語本の寓話部は数種の寓話集によって成り立っているが、その中の第2寓話集には天草本下巻話の該当話が20話求められる。最も多く該当話の求められるのが第2寓話集なのである。そして、その第2寓話集とは、筆者がここに取り上げる1534年本の第1寓話集ギリシア語ラテン語対訳149話のラテン語抄本なのである。そして、1534年本の場合にはこのように32話の該当話が求められるというわけなのである。

以上のような面から見ると、天草本下巻話の中心となるのはこのギリシア語ラテン語対訳149話の系統の寓話であると言えることになるのである。そして、その系統は、*Steinhöwel* 集以上に近世ヨーロッパのイソップ寓話集に影響を及ぼした *Planudes* 集の系統であると考えられるわけである。この点に天草本上巻話の系統との違いがあるのである。天草本上巻話は *Romulus* 集の寓話が92%を占めている。これは古活字本祖本(キリシタン訳本)を通じての *Steinhöwel* 集の影響によるものである。

原典の問題とは直接には結び付かないが<sup>5)</sup>、天草本下巻話のイソップ寓話としての系統という問題を考える場合、このギリシア語ラテン語対訳149話は欠かせない参考資料であると筆者は考えるのである。そして、寓話のイソップ寓話としての系統についての考察も原典の探求ということにとって欠かせないことであると思うのである。

#### 注

1. この天理図書館蔵1534年刊ギリシア語ラテン語対訳イソップ寓話集集成本の系統および資料性については拙著『邦訳二種伊曾保物語の原典的研究 続編』(昭和59年1月刊行・風間書房)の「参考資料影印編」の解説において述べてある。上著に掲げなかった影印を今回ここに掲げ、上著における解説を簡略化して付したものである。したがって、細部についての付注は省略した。
2. 小堀桂一郎氏『イソップ寓話』(昭和53年・中公新書)の第一部「四 近世印刷本時代のイソップ寓話集」参照。
3. *Romulus* 集全4巻80話(Caxton 集所収のものに拠る)中に該当話を求められるものは「(下20) 盗人と犬の事」「(下21) 老いた犬の事」「(下22) 蝮と小刀の事」「(下23) 山と仙人の事」「(下27) 野牛の子と狼の事」「(下42) ある年寄った獅子王の事」「(下43) 狐と狼の事」である。なお、「(下24) 狐と鮑の事」「(下41) 蛙と鼠の事」は天理図書館蔵の『*Aesopi Phrygis, et Aliorum Fabulae*』という1542年刊ラテン語イソップ寓話集集成本の寓話部における第3寓話集(*Romulus* 集系)に該当話が求められる。一方、*Remicius* 集100話中に該当話を求められるものは「(下2)二

人の知音の事」「(下28) 童の羊を飼うた事」「(下29) 鶯と鳥の事」「(下31) 百姓と子どもの事」であるが、Remicius 集は対訳149話と同じ Planudes 集の系統である。

4. 上注1の拙著参照。
5. この対訳149話が天草本下巻の原典と同じものとは考えられないという点についてはすでに述べた。その点以外にも次のような問題点がある。すなわち、「(下25) 亀と鶯の事」には「お礼には名珠を奉らうずる」という亀の約束があるが、この対訳149話の該当話にはそれが無い。しかし、すでに本文で述べた天理図書館蔵1542年刊ラテン語本の第6寓話集(Avianus 集)の第2話では「—, pollicetur baccas maris rubri.」とあり、亀は真珠を約束している(1542年本の第2寓話集には本稿の影印に掲げたのと同じ話もある)。系統的には同一話であっても、天草本下巻の原典にあったのは後者の型のものであったのであろう。また、「(下38) パストルの事」は、あるパストル(牧人)が極寒の山野で身動きできなくなった時の話となっているが、この対訳149話の該当話では、ある男が嵐に遭った時の話となっている。一方、上述の1542年本の第1寓話集の該当話では、「Agricola quidam hyberno sydere in agro deprehensus.」となっており、冬ごもりの時という点において天草本話の場合と一致するのである。この話の場合にも(下25)話の場合と同様のことが考えられる。

## 2. 影印 <凡例>

- 1) この影印は天理図書館で複写していただいたものの一部分を館長の許可を得て掲げたものである。
- 2) この影印は1534年刊ギリシア語ラテン語対訳本の第1寓話集(対訳149話)における天草本下巻話の該当話のラテン語本文が載っている頁だけを抽出し、それらを順序に従って掲げたものである。なお、その前にこの本の扉等を掲げた。
- 3) 影印の下にはそれに該当する天草本下巻話の番号・題名を付記した(例：天下30. 狐と野牛の事)。対訳149話の寓話番号および天草本下巻話の寓話番号は筆者の付したもので、他にも適宜に注記を付した。
- 4) 影印の順序は次の通り。まず、対訳149話中の該当話の番号を掲げ、次に、それに対する天草本下巻話の番号・題名を掲げる。話数は32話。

影印話 天草本下巻話

(4)	30. 狐と野牛の事	(66)※	16. 驢馬と獅子の事
(12)	5. 炭焼きと洗濯人の事	(70)※	36. 蟹と蛇の事
(13)	26. 漁人の事	(73)※	37. 女人と大酒を飲む夫の事
(20)	44. 老人の事	(79)※	1. 鶏と下女の事
(23)	38. パストルの事	(83)※	14. 二人同道して行く事
(36)※	9. 鶏と犬の事	(85)※	17. 蜜作りの事
(39)※	10. 獅子王と熊との事	(94)※	15. 野牛と狼の事
(43)	6. 病者と医師の事	(101)※	18. 鳥と鳩の事
(48)	8. 母と子の事	(113)※	12. 驢馬と狐の事
(49)	4. 大海と野人の事	(116)※	39. 驢馬と狐の事
(53)※	32. 尾長鳥と孔雀の事	(125)	13. 馬と驢馬との事
(56)※	33. 鹿と子の事	(137)	45. 獅子と狐の事
(59)※	11. 貪欲な者の事	(138)※	40. 狼と子を持った女の事
(61)※	25. 亀と鶯の事	(142)	7. 陣頭の貝吹きの事
(63)※	34. 片目な鹿の事	(143)	3. 桜欄と竹の事
(65)※	35. 鹿と葡萄の事	(149)※	19. 蝨と獅子王の事

なお、※印を付した影印話は天理図書館蔵1542年刊ラテン語集成本の第2寓話集(対訳149話のラテン語抄本)にも見える話(前節参照)。

- 5) なお、対訳149話に見出せない天草本下巻話13話は次の通り(前節の注3参照)。

- |  |  |
|--|--|
| <p>2. 二人の知音の事<br/>20. 盗人と犬の事<br/>21. 老いた犬の事<br/>22. 嬢と小刀の事<br/>23. 山と杣人の事<br/>24. 狐と鼯の事<br/>27. 野牛の子と狼の事</p> | <p>28. 童の羊を飼うた事<br/>29. 鷺と鳥の事<br/>31. 百姓と子どもの事<br/>41. 蛙と鼠の事<br/>42. ある年寄った獅子王の事<br/>43. 狐と狼の事</p> |
|--|--|

### Summary

Some photos of "Aesopi Phrygis Fabellae Graece et Latine (Basileæ, in officina Frobeniana, 1534)", one of the 16th century's Aesop's Fables in the Tenri Library's collection, will be used to investigate the original Latin fables of a Japanese translation of "Esopono Fabulas (at Amakusa Collegio 1593)" which is one of the Japanese publications issued by the Jesuit missionaries.

### 影 印

*Libr. H. Aesopi in Domo M. J. Bonifacii*

**AESOPHI PHRYGIS**  
FABELLAE GRAECE ET LATINE, cum alijs opusculis, quorum index proxima referatur pagella.



Basileæ, in officina Frobeniana  
Anno M D XXXIII

*Thomas Robinson*  
*Books*

INDEX AVTORVM  
HVIVS LIBRI

- Aesopi Phrygis uita & fabellæ.
- Gabriæ Græci fabellæ tres & quadraginta ex trimetris iambis, præter ultimam ex scazonte, tetraſtichis conclusæ.
- Ex Aphthonij exercitamentis de fabula, tum de formicis & cicadis.
- De fabula ex imaginibus Philostrati.
- Homeri *Βατραχιομαχία*, hoc est, ranarum & murium pugna.
- Musæus poeta uetustiss. De Erò & Leandro.
- Agapetus diaconus De officio regis ad Iustinianum Cæsarem.
- Hippocratis iusturandum.

Hæc omnia cum Latina interpretatione.

*βατραχιομαχία*, hoc est, felium & murium pugna, tragœdia Græca.  
Fabularum index in fine adiectus est.

IOANNES PROBENIVS  
STVDIOSIS S.

**I**Terum exhibemus uobis Aesopi fabellas cum aliquot alijs libellis Græce & Latine, quod proximam æditionem, quæ tota Græca fuit, ijs, qui adhuc tirones sunt in Græcanica literatura, minus gratam fuisse cognouerimus, quibus hoc Enchiridium præcipue paratur. Nam qui iam aliquatenus profecerunt, malunt in alijs autoribus se exercere. Nos etiam incipientibus consulendum putamus. Nec libet quibusdã hodie in academijs uersari, ubi sunt publici Græcarum literarum professores, propter ingens istud dissidium, quod magnam orbis partem, sed præcipue gymnasia affligit, bonis studijs omnibus internicionem minitans, nisi melior deus aliquis succurrat. Talibus igitur qui domi, suo, quod aiunt, Marte, aliquid Græcanicæ eruditionis comparare uolunt, muti magistri uice erit Latina uersio. Vos nostram operam boni consulite, & bene ualete. Basileæ.



略目次

4

ΑΙΣΩΠΟΥ ΒΙΟΣ ΤΟΥ ΜΥΘΟΡΟΙΟΥ  
Μαξιμου τῆς Πλανυδης συγγραφεως.



**Π**ραγμαδ' ἦν φύσις ἦν ἢ ἀνθρώποις ἀκρίβωσεν μὲν καὶ ἄλλοι, καὶ τοῖς μετ' αὐτῶν περιδιωκέντων φησὶν ὅτι, ἀσώπων δὲ θεῶν μὴ πύρρον θεοτόξας ἀνθρωπίνης τῆς ἡθικῆς διασκευῆς ἀφ' ἑαυτοῦ, πολλὰ τῶν μετ' αὐτῶν πολλοὺς αὐτῶν παρελάσασα. καὶ γὰρ ἔτι ἀφραϊνόμενον, ἔτι συλλογίζομενον, ἔτι μὲν ἔξ' ἰσορίας, ἢ ὅτι τῆς κατ' αὐτῶν ἡλικίας ἀπεγχε χρονον, τὴν νοῦν ἐστὶν ἀσθηθῆμενον, ἔλλα μὲν τοῖς πάντα περὶ τοῦ εἶδον, ὅτι τῆς ἦν ἀκροῦ μένων ἀγρόν τε ψυχῆς, ὡς ἀσφύλιον αὐτῶν λογικῶν ποιῆν ἢ φρονεῖν, ἢ μὴ φρονεῖν, μὴ ἀλώμενον. καὶ αὐτὸν πάλιν μὴ πῶς ἐστὶν ἐκείνοις, οἷς πολλὰ ἦν ἀλόγων ἢ κατὰ νομὴν ἀσφύλιον ποιεῖν, ἢ κατὰ μὴν ἰσότητάς τῶν ἐπισημασμένων. ἔξ' αὐτῶν μὲν ἰσότητάς τῶν ἐπισημασμένων αὐτοῖς διόδοξας, ἢ δὲ μεγίστη ἢ τοῖς κατέλιπεν τῆς ἀφελείας ἐτυχεῖν. ἔτι τοῖς πάλιν ὅτι κατ' αὐτῶν βίον φιλοσόφου πολιτείας ἀκόστα περὶ μελέτων, καὶ ἀφελείας μελέτων, ἢ λόγοις φιλοσοφίας, τὸ μὲν γὰρ ἔξ' ἀμοιβῆς τῆς φρονεῖας κατὰ τῆς τῆς μεγάλῃς ἐπιπέδου. τὴν δὲ τὴν γὰρ γὰρ δούλων. ἔξ' αὐτῶν καὶ σφόδρα μοι δοκεῖ, τὸ πάλιν ἦν ἢ γοργίας κατὰ ἄμα καὶ ἀλφειῶν ἐπιπέδου, ὡς τὴν πολλὰ γὰρ τῶν πῶς φρονεῖν γίγνεται ἀλλήλους ἔστιν, ἢ τὴν φύσιν, ἢ ὅτι αὐτῶν ἀσώπων γὰρ τὴν ψυχῆν ἢ μὲν φύσιν ἔλαβον ἢ ἀφελείας, ἢ δὲ τῶν ἀνθρώπων νόμον τὸ σὺμμετρον.

イソップ伝冒頭

序文

2 1

AESOPI FABVLATORIS VITA  
à Maximo Planude compofita.

5



**R**erum humanarum naturam persequuti sunt & alij, & posteris tradiderunt. Aesopus uero uidetur non absq; diuino afflatu cum morale disciplina attigerit, magno intervallo multos eorum superasse. Etenim neq; definiendo, neq; ratiocinando, neq; ex historia, quam ante ipsius ætatem tulit tempus, admodum, sed fabulis penitus erudiendo, sic audientium uenatur animos, ut pudeat ratione præditos facere, aut sentire, quæ neq; antea, neq; uulpes: & rursus non uacare illis, quibus pleraque bruta tempore prudenter uacasse finguntur, ex quibus aliqua, pericula imminetia effugerunt, aliqua maximã utilitatẽ in opportunitatibus consequuta sunt. Hic igitur qui uitam suam philosophicæ reipublicæ imaginẽ proposuerat, & operibus magis q̃ uerbis philosophatus, genus quidẽ traxit ex Amorio oppido Phrygiæ cognomento Magnæ, sed fortuna fuit seruus. Quare & magnopere mihi uidetur Platonis illud in Gorgia pulchre simul & uere dictum: Plerumq; enim hæc, inquit, contraria inter se sunt, natura simul, ac lex. Nam Aesopi animũ natura liberum reddidit, sed hominum lex cor-

左のラテン語訳文

ΑΙΣΩΠΟΥ ΜΥΘΟΙ.

Αιώς και αλώπηξ.



Εως και αλώπηξ φιλιώδη  
τες, παροιν αλλωλων οικου  
ιγνοωσιν, βιβαίωσιν φιλιως  
πιοιούθου τίνω στωιδασιν. ε  
μην ουμ εφ' υψουθου διγίθου  
τίνω καλιαν ιταξαστο, ε δ'  
αλώπηξ ην τοις ιγνισα θάμ  
ροις ιτακτοπιοιστο. υθι το-

μην ουμ ποτα τις αλώπηξ φιλιώδους, ε αιώς  
προφως ιταξαστο υθι θηθ δάκνωμ, και τα τε  
και ταύτης αμαρπασσε, εμα τοις αιωθι νιστοις ιδου  
νισαστο. ε δ' αλώπηξ ιτακτοπιοιστο, και το προαχθου  
μαθούσσε, ε ποσούσση υθι θηθ ην τίκνωμ ινισαθι δα-  
νιστο, ουμ υθι θηθ τις αμώθης απίθου. χερσια και  
αση, πτωιουθου ουμ εια τε λω. διε και πύθουθου  
εύσσε, ταθ' ε και τοις αδωλωστας θην ούπορομ, θηθ  
εθροθου κερτασσε. ε πολλα εθ' εθροθου, αλγθου και  
εθροθου θυνοθου, και τα τε ε αιώς, μωθ' ην θηθ θυ-  
μωθ' ην ουμ ιμπυροισ αθροθου ηερπασσε, και πη τίνω  
εθροθου ηγαθου. αμωθου θηθ εθροθου πωθούσσε θηθ  
πωθούσσε, και φλογθου αμωθούσσε ε αιωθις ασηθι-  
νθου ιτα πηγθουθου θηθ, ιτα πωθούσσε εθ' γλω και πω-  
σση. ε δ' αλώπηξ ιταξαστο, ην οφθα το αθροθου  
πωθούσσε κερτασσε.

Επιμύθιον.

ο μύθου

第1話 (猫と狐)

AESOPi FABVLAE

Aquila & uulpes



Quila & uulpes inita amici-  
tia prope habitare decreue-  
runt, confirmationem amici-  
tiae faciendo cōsuetudinem.  
Aquila super alta arbore ni-  
dum affixit: uulpes uero in

proximis arbutis filios peperit. Ad pabulum  
igitur aliquando uulpe profecta, aquila cibi  
indigena, deuolans in arbuta, & filios hu-  
ius raptos, unā cum suis pullis deuorauit.  
Vulpes uero reuerfa, & re cognita, non tam  
filiorum tristata est morte, quam uindictae  
inopia: quia enim terrestris esset, uolucrum  
persequi haud poterat. Quare procul stans,  
quod etiam impotentibus est facile, inimi-  
cae maledicebat. Non multo autem post,  
capram quibusdam in agro sacrificantibus,  
euolans aquila partem uictimae cum ignitis  
carbonibus rapuit, & in nidum tulit. Ven-  
to autem uehementi tunc flante, & flamma  
excitata, aquilae pulli inuolucres adhuc cum  
essent, afflati in terram decidunt: uulpes ue-  
ro accurrens, in conspectu aquilae omnes deu-  
orauit.

Affabulatio.

g 4 Fabula

左のラテン語訳文

AESOPi FABVLAE 107

scarabeo, ut aquilae cōdiliaretur. Sed eo non pa-  
rente, iupiter in aliud tempus aquilarum trans-  
mutauit partum, cum scarabei non appareant.

Affabulatio.

Fabula significat nullum esse contemnendum,  
considerando non esse quenquam, qui laesivus  
se ulcisci non queat.

Philomela & accipiter.

Philomela super arbore sedens de more ca-  
nebat. Accipiter autem uidens, ac cibi in-  
digens, uolando corripuit. Quae cum occiden-  
da foret, orabat accipitrem, ne deuoraretur: ne  
que enim satis esse ad accipitris uentrē implen-  
dum, sed oportere ipsum cibo egentem ad ma-  
iores aues conuerti. At accipiter suscipiens ait,  
Sed ego certe demens essem, si qui in manibus  
paratus est, cibo dimisso, quae non uident, per-  
sequar.

Affabulatio.

Fabula significat plerisque homines eodem mo-  
do esse inconsultos, qui spe maiorum incerto-  
rum, quae in manibus habentur amittant.

Vulpes & hircus.

Vulpes & hircus sitiētes in puteū descen-  
derunt: sed postquam biberunt, hircus inda-  
gante ascensum uulpes ait, Confide, utile quid  
in utriusque etiam salutē excogitauit: si enim re-  
ctus steteris, & anteriores pedes parieti firma-  
ueris, & cornua pariter in anteriorē partē incli-  
naueris, cum percurrerim ipsa per tuos humeros

&

(4) Vulpes & hircus. (天下30. 狐と野牛の事)

AESOPi FABVLAE 109

& cornua & extra puteum illinc exiliuerim &  
te postea extraham hinc. Ab hircu autē ad hoc  
prompte officio praestito, illa cum ex puteo sic  
exiliuisset, exultabat citicum os laeta, hircus autē  
ipsam accusabat, quod transgressa fuerit con-  
uentiones. Illa autem, Sed si tot, inquit, mentes  
possideres quot in barba pilos, non ante descē-  
disses quam ascensum considerasses.

Affabulatio.

Fabula significat sic prudentem uirum oportere  
prius fines considerare rerum, deinde sic ip-  
sas aggredi.

Vulpes & leo.

Vulpes cum nunquam uidisset leonem, cum  
ei casu quodam occurrisset, primum sic  
timuit ut ferme moretetur: deinde cum secun-  
do uidisset timuit certe, non tamē prius: ter-  
tio autem cum ipsum uidisset, sic contra eum  
ausa est, ut & accederet & colloqueretur.

Affabulatio.

Fabula significat, conuersatione terribilia quo-  
que accessu facilia fieri.

Felles & gallus.

Felles comprehenso gallo, cum rationabili  
ipsum causa uolebat deuorare. Caterum ac-  
cusabat ipsum, dicendo molestū esse hominibus.  
nocte clamantem, neque permittentem somno  
frui. Eo uero respondente ad illorum utilitatem  
id se facere, ut ad consueta opera excitarentur  
rursus

同 左

AESOPi FABVLAE 115

Fabula significat prudentes facile ferre ab alienis iniurias, cum ipsos uideant neq̄ à suis abstinerere.

Vulpes.

Vulpes in domum mimi profecta, & singula ipsius uasa persecutata, inuenit & caput laruæ ingeniose fabricatum, quo & accepto manibus ait: ò quale caput, & cerebrum non habet.

Affabulatio.

Fabula in uitros magnificos quidem corpore, sed animo inconfultos.

Carbonarius & fullo.

Carbonarius in quadam habitans domo, rogabat ut & fullo accederet & secum cohabitaret: sed fullo respondendo ait, Sed non hoc possem ego facere: imo enim ne quæ ergo dealbo, tu fuligine repleas.

Affabulatio.

Fabula significat omne dissimile esse infociabile.

Piscatores.

Piscatores trahebāt uerriculum, quod cum graue foret gaudebant & exultabāt, multum inesse prædæ existimantes: sed cum in litus ipsum traxissent, piscesq̄ paucos quidem, sed lapidem in eo permagnum inuenissent, tristari & mœrere cœperunt, non tam piscium paucitate, q̄ & cōtraria ante animo præiumpserant. qd̄ aut̄ inter eos natu grandior dixit, Ne missemur ò socij, nam uoluptati, ut uidet, fors

h 2 est

(12) Carbonarius & fullo. (天下5. 炭焼きと洗濯人の事)

(13) Piscatores. (天下26. 漁人の事)

AESOPi FABVLAE 124

ipsum ulturi, in somnijs adfuerunt ei, dicentes, Abi ad litus ad eum locum, illic enim Atticas mille drachmas inuenies. Ille autem excitatus, lætus & alacer ad demonstratum locum perrexit, aurum disquirēs. Sed illic in piratas incidit, ab ipsisq̄ comprehensus est. Captus ergo ut dimitteretur piratas orabat, mille auri talenta daturum ipsis promittens. Sed cum non crederetur, abactus ab ipsis, diuenditus est mille drachmis.

Affabulatio.

Fabula significat mendacijs hominum inimicum esse deum.

Ranæ.

Ranæ duæ in palude pascebantur, æstate autem siccata palude, illa derelicta, quæ rebant aliam. ceterum profundum inuenerunt puteum. Quo uiso, altera alteri inquit, descendamus heus tū in hunc puteum. Illa respondendo ait, Si igitur & hic aqua auerit, quomodo ascendemus?

Affabulatio.

Fabula declarat non oportere incōsiderate res aggredi.

Senex & mors.

Senex quondam incisis in monte lignis, ac in humeros eleuatis, ubi multam uiam orneratus fuit, defessus & deposuit ligna, & mortem ut ueniret inuocabat. At morte illico adstante & causam rogante, qua se uocasset, senex ait, ut onus hoc sublatum im-

h 5 poneres

(20) Senex & mors. (天下44. 老人の事)

AESOPi FABVLAE 117

est tristitia, & nos igitur oportebat tātum ante lætatos, omnino aliqua in re etiam tristari.

Affabulatio.

Fabula significat non oportere tristari frustrata spe.

lactator.

Vir quidam peregrinatus, deinde in suam patriam reuersus, aliaq̄ multa in diuersis uiriliter gessisse locis iactabat, atque etiam Rhodi saltasse saltum, quē nullus eius loci potuerit saltare. Ad hoc & testes, qui ibi interfuerunt, dicebat habere. Quidam autem ex ijs qui aderant, suscipiēs ait: heus tu, si uerum hoc est, nō est tibi opus testibus. En Rhodus, en saltus.

Affabulatio.

Fabula significat, nisi præpta rei demonstratio sit, omnem sermonem uanum esse & superuacuum.

Impossibilia promittens.

Vir pauper aegrotās & male affectus, cum à medicis desperatus esset, deos rogabat, pollicens si sanitate sibi rursus restituisent, centum boues ipsis oblaturos esse in sacrificium. Vxore autem eius rogante, & ubi tibi hæc, si conualueris? ille ait; Putas enim surgere me hinc, ut dei hæc à me repetant?

Affabulatio.

Fabula significat, multos facile polliceri, quæ re comprobare non sperent.

Malignus.

Vir malignus ad eū, qui in Delphis est, iuit

h 3 Apol

同 左

AESOPi FABVLAE 129

poneres mihi.

Affabulatio.

Fabula significat omnem hominem uitæ studiosum esse, & licet infinitis periculis immerfus, uideatur mortem appetere, tamen uiuere multo magis, quàm mori eligere.

Anus & medicus.

Mulier anus dolens oculos, conduxit medicum quendam mercede, conuentione facta si se curaret, pactā mercedem ei daturam: sin autē minime, nihil daturam. Aggressus est igitur medicus curam, quotidie uero accedens ad uetulam, & oculos ei ungens, cū illa nequam uidere posset ea hora ob unctiōē, ipse uas aliquod ex domo auferens quotidie dicebat. Anus igitur suam suppellectilem uidebat singulis diebus minui, adeo ut tandem omnino liberatæ nihil relinqueretur. At medico pactam mercedem ab ea efflagitante, quasi pure iam uidente, & testes adducente: Magis certe ait illa, nunc nihil uideo. Nam cum oculis laborabam, multa mea in mea uidebā domo, nunc autem cum me tu uidere inquis, nihil omnino ex illis uideo.

Affabulatio.

Fabula significat, prauos homines ex ijs quæ agant, ignaros contra se ipsos argumentum asserre.

Agricola & filij ipsius.

Agricola

同 左



## AESOPI FABVLAE 135

**A**gricola quidam uita excessurus, ac uolens suos filios periculum facere de agricultura, uocatis ipsis ait, Filij mei, ego iam e uita discedo, uos autem si quae in uinea a me oculata sunt, quaesieritis, inuenietis omnia. Illi igitur rati thesaurū illic defossum esse, omnem uinea terram post interitum patris defoderūt, & thesaurū quidem non inuenerunt, sed uinea pulchre fossa multiplicem fructum reddidit.

Affabulatio.

Fabula significat laborem thesaurum esse hominibus.

Herus &amp; canes.

**V**ir quidam a tempestate in suo suburbio deprehensus, primum oues comedit, hinc capras. Tempestate aut inualecente, & operarios boues iugulatos comedit. Canes uero his uisus, dixerunt inter se, sed fugiamus nos hinc. Si enim operarijs bubus herus noster non abstinet, quo modo nobis abstinebit?

Affabulatio.

Fabula significat, eos maxime fugere & cauere oportere, qui neq̄ suis abstinent.

Mulier &amp; gallina.

**M**ulier quaedam uidua gallinam habebat, singulis diebus ouum sibi patientem: rata uero si plus gallinae hordei proijceret, bis paritiram die, hoc fecit. Sed gallina pinguefacta ne semel quidem die parere potuit.

Affa-

(23) Herus &amp; canes. (天下38. パストルの事)

## AESOPI FABVLAE 139

te egressi sunt ad uenandum. Multa igitur praeda capta, iussit leo asino ut diuideret sibi. at ille tribus partibus factis aequaliter, ut eligeret eos hortabatur. Et leo iratus asinum deuorauit. Inde uulpi ut diuideret iussit: illa uero in unā partem omnibus congestis, sibi minimum quiddam reliquit. Tum leo ipsi, Quis te, o optima, diuidere sic docuit: Ea inquit, asini calamitas.

Affabulatio.

Fabula significat castigamenta hominibus esse aliorum infortunia.

Leo &amp; ursus.

**L**eo & ursus simul magnam nocti hinnulum, de eo pugnabant. Grauius igitur a se ipsis affecti, ut ex multa pugna etiam uertigine corripentur, defatigati iacebant. Vulpes autem circumcirca eundo, ubi prostratos eos uidit, & hinnulum in medio iacentem, hunc per utrosq̄ percurrando rapuit, fugiensq̄ abiuit. At illi uidebant quidē ipsam, sed quia non poterant surgere, nos miseros dicebant, quia uulpi laborauimus.

Affabulatio.

Fabula significat alijs laborantib. alios lucrari.

Vates.

**V**ates in foro sedens diserebat, cum aut superuenisset quidam derепente & nunciaffet q̄ domus ipsius fenestrae apertae omnes essent & quae intus ablata omnia, exiuit suspirando, &

(39) Leo &amp; ursus. (天下10. 獅子王と熊との事)

## AESOPI FABVLAE 137

Fabula significat prudentes homines cum alia qua in re periclitati salui facti fuerint, cauere ab ea quamdiu uiuerint.

Canis &amp; gallus.

**C**anis & gallus inita societate iter faciebant, uespera autem superueniente, gallus conscensa arbore dormiebat, at canis ad radicē arboris excauata. Cum gallus ut assolet noctu cantasset, uulpes ut audiuit occurrit, & stans in ferius ut ad se descenderet rogabat, quod cupe ret commendabile adeo cantu animal completi. Cum autem is dixisset, ut ianitorem prius excitaret ad radicem dormientem, ut cum ille aperuisset, descenderet. Et illa querente ut ipsum uocaret, canis statim proliens eam dilacerauit.

Affabulatio.

Fabula significat prudentes homines inimicos insultantes ad fortiores astu mittere.

Leo &amp; rana.

**L**eo audita aliquando rana ualde clamante, uertit se ad uocem, ratus magnū aliquod animal esse. parumper autem expectando, ut uidit stagno egressam, accedens propius proculcauit.

Affabulatio.

Fabula significat non oportere ante quam uideas uoce sola perturbari.

Leo &amp; asinus &amp; uulpes.

**L**eo & asinus & uulpes, inita societate

(36) Canis &amp; gallus. (天下9. 鶏と犬の事)

## AESOPI FABVLAE 143

Vespertilio uero creditores timens, interdiu non apparet, noctu ad pabulum exit. Rubus praetercuntium uesti inharet, sicubi suam cognoscat quaerendo.

Affabulatio.

Fabula significat, in ea quibus incumbimus in posterum recidere.

Aegrotus &amp; medicus.

**A**egrotus quidam a medico rogatus, quomodo ualuisse, Plus ait, q̄ oporteret suffasse. Ille aut bonū ait hoc esse. Secundo uero ab ipso iterum rogatus quōd habuisset, horrore correptū ait ualde cocullum fuisse. Ille & hoc bonū esse ait. Tertio rogatus quōd ualuisse, ait in intercutē incidisse. Ille & hoc rursus bonum ait esse. Inde ex domesticis quodā ipsum rogante, ut habes? Ego, ait, heus tu, praebonis pecco.

Affabulatio.

Fabula significat maxime ex hominibus odio haberi, qui in gratiam semper loqui student.

Lignator &amp; Mercurius.

**L**ignator quidam apud fluvium suam amicitiam fecurim: inops igitur consilij iuxta ripam sedendo plorabat. Mercurius autem intellecta causa & miseratus hominem, urinatus in fluvium auream sustulit securim: & an haec esset quā perdidit, rogauit. Illo non eam esse dicente, iterum urinatus argenteam sustulit. Illo neq̄ hanc esse suam dicente, tertio urinatus, illam ipsam

(43) Aegrotus &amp; medicus. (天下6. 病者と医師の事)

## AESOPI FABVLAE 147

perabitur. Affabulatio.  
Fabula significat tunc maxime priores domi-  
nos à famulis expecti, cum de secundis pericu-  
lum fecerint.

Auceps, & cassita.

**A**Vceps auiibus struxerat laqueos, alau-  
da uero hunc procul uidens rogauit,  
quidnam operaretur, eo urbem condere dicen-  
te. Deinde procul regresso & abscondito, gale-  
rita uiri uerbis credendo, accessit ad cassem, &  
capta est. At aucupe accurrense, illa dixit, heus-  
tu, si talem urbem condis, non multos inueni-  
es incolentes.

Affabulatio.

Fabula significat, tunc maxime domos & ur-  
bes desolari, cum praefecti molesti fuerint.

Viator.

**V**iator multa confecta uia, orauit, si quid  
inueniret, dimidium Mercurio dedica-  
turum. Naclus igitur peram cariorarum & a-  
mygdalarum plenam, atq; ea accepta, eas co-  
medit. Sed cariorarū ossa & amygdalarum cor-  
tices super altari quodam imposuit, locutus ha-  
bes o Mercuri, uotum. Nam rei inuentæ exte-  
riora & interiora tecum partior.

Affabulatio.

Fabula aduersus uirum auarum, qui & deos  
ob cupiditatem fallit.

Puer, & mater.

k 3 Puer

(48) Puer, & mater. (天下8. 母と子の事)

## AESOPI FABVLAE 151

uidetur, desiderat, & propterea uidet quietū.

Affabulatio.

Fabula significat calamitates hominibus do-  
cumenta esse.

Punica, & malus.

**P**unica & malus de pulchritudine conten-  
debant. Multis contentationibus interim fa-  
ctis, rubus ex proxima sepe audis, desinamus  
ait, o amicae aliquando pugnare.

Affabulatio.

Fabula significat in praesentiorū seditionibus,  
uillissimos quoque conari esse aliquos.

Talpa.

**T**Alpa caecum animal est. Dixit igitur ali-  
quando matri, morum mater uideo. Dein  
de rursum ait: thuris odore plena sum. Et tertio  
iterum, aerei, inquit, lapilli fragorem audio. Ma-  
ter uero respondendo, ait: o filia, ut iam perci-  
pio, non solum uisui priuata es, sed & auditu,  
& olfactu.

Affabulatio.

Fabula significat, nonnullos iactabundos, im-  
possibilia promittere, & in minimis redargui.

Vespæ, & Perdices.

**V**espæ, & pdices subbidæ ad agricolā iue-  
runt, ab eo petentes bibere, promittentes p-  
a q̄ hāc gratiā reddituras, pdices fodere uineas.

k 4 uespæ

同 上

## AESOPI FABVLAE 149

**P**Ver ex literario ludo condiscipuli librum  
furatus, tulit matri. Cum ea uero non cor-  
ripuisset, sed potius amplexata fuisset, proue-  
ctus aetate coepit & maiora furari. In ipso au-  
tem furto aliquando deprehensus, ducebatur  
recta ad mortem. At sequente & lugente ma-  
tre, ille carnifices orabat, ut breuia quædam ma-  
tri narraret in aurem. Quæ cum ilico ori filij se  
admouisset, ille aurem dentibus demorsam  
abscidit. Matre autē & alijs accusantibus, quia  
non solum furatus sit, sed & in matrem impius  
esset, ille ait: hæc enim mihi perditionis fuit  
causa. Si enim cum librum furatus fui, me cor-  
ripuisset, non ad hæc usque procedendo, nunc  
ducerer ad mortem.

Affabulatio.

Fabula significat, eorum qui non in principio  
puniuntur, in maius augeri mala.

Pastor, & mare.

**P**astor in maritimo loco armentum pas-  
cens, uisio tranquillo mari, desiderauit na-  
uigare ad mercaturam. Venditis igitur ou-  
bus, & palmarū fructibus emptis, soluit. Tem-  
pestate uero uehementi facta, & nauis in pericu-  
lo ut submergeretur, omni onere eiecto in ma-  
re, uix uacua nauis euasit incolumis. Post uero  
dies non paucos transeunte quodam, & maris  
(erat enim id forte tranquillū) quietē admiran-  
te, suscepto sermone, hic ait: cariora iterū, ut

k 3 uidetur

(49) Pastor, & mare. (天下4. 大海と野人の事)

## AESOPI FABVLAE 153

uespæ circumcirca eundo aculeis arcere fures,  
At agricola ait, sed mihi sunt duo boues, qui ni-  
hil promittendo, omnia faciunt. Melius igitur  
est illis dare, quam uobis,

Affabulatio.

Fabula in uiros perniciosos, qui promittunt qui-  
dem iuuare, lædunt autem admodum.

Pauo, & monedula.

**A**Vibus creaturis regem, pauo orabat ut  
se ob pulchritudinem eligerent. Eligenti-  
bus autem eum omnibus, monedula suscepto ser-  
mone, ait, sed si te regnate aquila nos persequi  
aggressa fuerit, quomodo nobis opem feres?

Affabulatio.

Fabula significat, principes non modo propter  
pulchritudinem, sed & fortitudinē & pruden-  
tiam eligi oportere.

Singularis animal, & uulpes.

**S**ingularis agrestis cuidam aditans arbori  
dentibus acuebat. Vulpes rogāte causam, qua-  
re nulla, pposita necessitate dentes acueret, ait,  
nō ab re hoc facio. Nam si me periculū inuase-  
rit, minime me tunc acuedis dentibus occu-  
patum esse oportebit, sed potius paratis uti.

Affabulatio.

Fabula significat aduersus periculū preparatū  
esse oportere.

Cassita.

**C**assita laqueo capta, plorans dicebat, hei  
mihi miseræ, & infelici uolucris. Non au-

k 5 rum

(53) Pauo, & monedula. (天下32. 尾長鳥  
と孔雀の事)

## AESOPI FABVLAE 155

rū surripui cuiusq̄, nō argentū, nō aliud quicūq̄ preciosum. Granū autē tritici parū, mortis mihi causa fuit. Affabulatio.

Fabula in eos, qui ob uile lucrum, magnum subeunt periculum.

## Hinnulus.

**H**innulus aliquando ceruo ait: Pater, tu & maior, & celerior canib. & cornua præterea ingentia gestas ad uindictā, cur nam igitur sic eos times: Et ille ridens, ait: uera quidem hæc inquis fili, unum uero scio, quod cum canis latratum audiuerō, statim ad fugam nescio quomodo efferor.

## Affabulatio.

Fabula significat, natura timidus nulla admonitione fortificari.

## Lepores, &amp; ranæ.

**L**epores aliquando in unū profecti, suā ipsorum deplorabāt uitam, quod foret periculis obnoxia, & timoris plena, quod & ab hominibus, & canib. & aquilis, & alijs multis cōsumant. Melius itaq̄ esse mori semel, q̄ toto uitæ tempore timere. Hoc igitur firmato, impetum fecerūt simul in paludē, quasi in eam insulnri & suffocandi. Sed cū ranæ, quæ circū paludem sedebant, cursus strepitu percepto, ilico in hanc insiluisse, ex leporibus quidā prudentior esse uisus alijs, ait: sistite ò focij, nulla re graui uos ipsos afficite, iā ut uidetis, & nobis alia sunt

(56) Hinnulus. (天下33. 鹿と子の事)

## AESOPI FABVLAE 159

bare. Affabulatio.

Fabula significat, nihil esse possessionem, nisi usus adfuerit. Anseres, & grues.

**A**nseres, & grues in eodē prato pascebantur. Venatoribus autē uisus, grues, q̄ essent leues, statim euolauerunt, anseres uero ob onus corporū cum mansissent, capti fuerunt.

## Affabulatio.

Fabula significat, & in expugnatione urbis, in opes facile fugere, & ditites autē seruire captos.

## Testudo, &amp; Aquila.

**T**estudo orabat aquilam, ut se uolare doceret. Ea autem admonente procul hoc à natura ipsius esse, illa magis precibus instabat. Accipit igitur ipsam unguibus, & in altum sustulit, inde demisit. Hæc autem in petras cecidit, & contrita est.

## Affabulatio.

Fabula significat, multos, quia in contentionibus prudentiores nō audierint, se ipsos læsisse.

## Pulex.

**P**vlex aliquando saltans, uiri pedē inhæsit. hic autē Hercule in auxilium inuocabat. At hic cū illic rursus saltasset, suspirādo ait, ò Hercules, si cōtra pulicē nō auxiliatus es, quomodo contra maiores aduersarios adiuuabis?

## Affabulatio.

Fabula significat non oportere in minimis deū rogare, sed in necessarijs.

## Cerua

(61) Testudo, & Aquila. (天下25. 亀と鷲の事)

## AESOPI FABVLAE 157

sunt animalia timidiora. Affabulatio. Fabula significat, miseros grauioribus aliorū consolari calamitatibus.

## Asinus, &amp; equus.

**A**sinus equū beatū putabat, q̄ abundantius nutritur & accurate, cū ipse neq̄ palearum satis haberet, præsertimq̄ defatigatus. Cū autē tempus institit belli, & miles armatū ascendit equū, huc illic ipsum impellendo, ceterū & in medios hostes insiluit, & equus uulneratus iacebat. His uisus, asinus equū mutata sententiā miserū existimabat. Affabulatio.

Fabula significat, nō oportere principes & diuites amulari, sed in illos inuidia, & periculo consideratis, paupertatem amare.

## Auarus.

**A**uarus quidam cū omnia sua bona uendidisset, & aureā massā fecisset, in loco quodam infodit, unde desosso illic & animo suo & mēte. Atq̄ quotidie eundo, ipsam uidebat. Id autē ex operis quidā obseruando cognouit, & re fossam massā abstulit. Post hæc & ille profectus, & uacuū locū uidens, uigere cepit, & capillos euellere. Hūc cū quidam uideret sic plorantem, & causam audiuisset, ne sic ait ò tu tritare. Neq̄ enim habens aurū, habebas. Latidem igitur pro auro acceptū reconde, & puta tibi aurum esse, eundem enim tibi usum præstabit. Nam, ut uideo, neq̄ cum aurū erat, utere

(59) Auarus. (天下11. 貪欲な者の事)

## AESOPI FABVLAE 161

## Cerua.

**C**erua altero obcæcata oculo, in litore pascebatur, sanum oculum ad terram propter uenatores habens, alterum uero ad mare, unde nihil suspicabatur. Præter nauigantes autem quidam, & hoc coniectantes, ipsam sagittarunt. Hæc autem se ipsam lugebat, quod unde timuerat, nihil passa foret: quod nō putabat malum allaturum, ab eo proditam.

## Affabulatio.

Fabula significat, sepe quæ nobis noxia uidentur, utilia fieri: quæ uero utilia, noxia.

## Cerua, &amp; Leo.

**C**erua uenatores fugiēs in spelūcā ingressa est, in leonem autē ibi cū incidisset, ab eo cōprehensa est, moriēs autē dicebat, hei mihi q̄ homines fugiens, in ferarū immittissimū incidi.

## Affabulatio.

Fabula significat, multos homines dum parua fugiunt pericula, in magna incurrere.

## Cerua &amp; uitis.

**C**erua uenatores fugiens, sub uite delituit. Cum præterissent autē parumper illi, cerua prorsus iā latere arbitrata, uitis folia depasci incipit. Illis uero agitat, uenatores conuersi, & quod erat uerum, arbitrati animal aliquod sub folijs occultari, sagittis confecerūt certam. Hæc autē moriens talia dicebat, iusta passa sum, non em̄ offendere oportebat, quæ me seruatur.

## Affabulatio

(63) Cerua. (天下34. 片目な鹿の事)

(65) Cerua & uitis. (天下35. 鹿と葡萄の事)

## AESOPI FABVLAE 163

## Affabulatio.

Fabula significat, qui iniuria benefactores afficiunt, à deo puniri.

## Asinus, &amp; leo.

**C**vm asino gallus aliquando pascebatur. Leone aut aggresso asinum, gallus exclamauit, & leo (asini enim hunc galli uocē timere) fugit. At asinus ratus, propter se fugere, aggressus est statim leonē. Vt uero procul hinc plecutus est, quò nō amplius galli perueniebat uox, conuersus leo deuorauit. Hic uero moriens clamabat, me miserū & dementē. Ex pugnacibus enim nō natus parentibus, cuius gratia in aciem intrat.

## Affabulatio.

Fabula significat, plerisque homines, inimicos, qui se de industria humiliarunt, aggredi, atque ira ab illis occidi.

## Olior, &amp; canis.

**O**lioris canis in puteū decidit, olior autē ipsum illinc extracturus, descendit & ipse in puteū. Ratus autē canis accessisse ut se inferius magis obrueret, oliorē uersus momordit. Hic autē cū dolore reuersus, iusta, inquit, patior. Nam cur unquam sui interfectore seruare studuit.

## Affabulatio.

Fabula in iniustos, & ingratos.

## Sus, &amp; canis.

**S**us & canis mutuo cōuiciabant. Et sus iurabat per Venerem, proculdubio dentibus

1 2 discissur

(66) Asinus, & leo. (天下16. 驢馬と獅子の事)

## AESOPI FABVLAE 165

discissuram canem. canis uero ad hæc per ironiam dixit, bene per Venerem nobis iuras. Significas enim ab ipsa uehementer amari, quæ impuras tuas carnes degustantē, nullo pacto in scellum admittit. Ex sus, propter hoc igitur magis præ se fert dea amare me. Nam occidentē, aut alio quouis modo lædentem omnino auerfatur. Tu tamen male oles & uiua & mortua.

## Affabulatio.

Fabula significat, prudentes oratores, quæ ab inimicis obijciuntur, artificiose in laudem conuertere.

## Sus, &amp; canis.

**S**us & canis de fecunditate certabant, dixit autē canis, fecunda esse maxime pedestriū omnium. Ex sus occurrens ad hæc, inquit: sed cū hæc dicis, scito & cæcos tuos te catulos parere.

## Affabulatio.

Fabula significat, non in celeritate res, sed in perfectione iudicari.

## Serpens, &amp; cancer.

**S**erpens unā cum cancro uiuebat, inita cum deo societate. Itaque cancer simplex moribus, ut & ille mutaret admodum astutiam. Hic autem minime obediebat. Cum obseruasset igitur cancer ipsum dormientem, & pro uiribus compressisset, occidit. At serpente post mortem extenso, ille ait: sic oportebat antehac rectum & simplicem esse. Neque enim hanc

1 3 poenam

(70) Serpens, & cancer. (天下36. 蟹と蛇の事)

## AESOPI FABVLAE 167

poenam dedisses. Affabulatio.

Fabula significat, qui cū dolo amicos adeunt, ipsos offendi potius.

## Pastor, &amp; lupus.

**P**astor nuper natus lupi catulum reperit, ac sustulit, unamque cum canibus nutriuit. At cum adoluisse, si quando lupus ouem rapuisset, cum canibus & ipse persequabatur. Cum canes uero aliquando nō possent assequi lupū, atque ideo recurrerentur, ille sequebatur, ut cum ipsum assecutus esset, ut lupus, particeps foret uenationis: inde redibat. Sin autē lupus extra non rapuisset ouem, ipse clam occidens, unā cū canibus comedebat, donec pastor cum coniectasset & intellexisset rem, de arbore ipsum suspendit, & occidit.

## Affabulatio.

Fabula significat, naturam prauam bonos mores non nutrire.

## Leo, &amp; lupus.

**L**eo cū cōsenuisset, ægrotabat iacens in antro: accesserunt autē uisitatura regē, præter uulpē, cætera animalia. Lupus igitur capta occasione accusabat apud leonē uulpem, quasi nihil facientē suū omnium dominū, & propterea neque ad uisitationē profectā. Interim affuit & uulpes, & ultima audiuit lupi uerba. Leo igitur cōtra eā infremuit: sed defensionis tempore petito, & quis, inquit, corū qui cōuenerunt tantū

1 4 profuit

同 上

## AESOPI FABVLAE 169

profuit, quantū ego, quæ in omnē partē circuit, ut, et medicamentū pro te à medico quæsiuit, & didici: Cū autē leo statim, ut medicamentū diceret, imperasset, illa inquit, si lupo uiuente excoxiato, ipsius calidā pellē indueris. Et lupo iacentem, uulpes ridens, ait, sic nō oportet dominū ad maleuolentiā mouere, sed ad beneuolentiā.

## Affabulatio.

Fabula significat, eum qui quotidie machinatur, in seipsum laqueum uertere.

## Mulier.

**M**ulier quædam uirū ebriū habebat, ipsum autē à morbo liberatura, tale quiddam comenta est. Aggrauatū enim ipsum ab ebrietate cū obseruasset, & mortuū instar insensatum, in humeros eleuatū, in sepulchretum allatū deposuit, & abiit. Cū uero ipsum iam sobriū esse cōiectata est, profecta ianuā pulsauit sepulchreti. ille autē cū diceret, quæ est, qui pulsauit ianuā? uxor respondit, mortuis cibaria ferēs ego adsum. Et ille: nō mihi comessē, sed bibere ò optime potius affer, tristificas enim me, cū cibi, nō potus me ministris. Hæc autē pectus plangēdo, heu mihi mihi ferē, inquit, nam neque astu profuitū enim uir nō solū non emendatus es, sed peior quoque te ipso euasisti, in habitū tibi deductus est morbus.

## Affabulatio.

Fabula significat non oportere malis actibus immorari: nam & nolentē quandoque hominē,

1 5 confuet

(73) Mulier. (天下37. 女人と大酒を飲む夫の事)

## AESOPI FABVLAE 171

consuetudo inuadit.

Cycnus.

**V**ir diues anseremq; simul & cycnum nutritabat, nō ad eadem tamen, sed alterum cantus, alterum mensae gratia. Cum autē oporteret anserem pati ea, quorum causa nutritabatur, nox erat, ac discernere tempus non permisit utrunq;. Cycnus autē pro anserē abductus, cantat cantum quendam, mortis exordium, & cantu significat naturam, mortem uero effugit suauitate canendi.

Affabulatio.

Fabula significat, saepe Musicē differre mortē.

Aethiops.

**A**Ethiopem quidam emit talem ei colorē inesse ratus negligentia eius, qui prius habuit. Ac assumpto in domū, omnes ei adhibuit absterfiones, omnibus lauacris tentauit mundare; & colorem quidem transmutare nō potuit, sed morbum uexatio parauit.

Affabulatio.

Fabula significat, manere naturas, ut à principio prouenerint.

Hirundo, & cornix.

**H**irundo & cornix de pulchritudine contendebant. Respondens autē cornix ei, dixit: sed tua pulchritudo uero tempore floret, meum uero corpus etiā hyeme durat.

Affabulatio.

Fabula

同 左

## AESOPI FABVLAE 175

eas excitabat. Affabulatio.

Fabula significat plerisque hominibus consilia esse malorum causas.

Mulier uenefica.

**M**ulier uenefica diuinarum irarum propulsiones promittens, multa facere persequerabatur, & lucrū inde facere, quidam igitur accusauerunt eam impietatis, & conuicerunt, & damnatam ducebant ad mortē. Videns autem quidam eam duci, ait tu, quae deorum iras auertere promittebas, quomodo neq; hominū consilium mutare potuisti?

Affabulatio.

Fabula significat, multos magna promittētes, ne parua quidem facere posse.

Mustela.

**M**ustela in officinam ingressa ferrarij, ibi iacentem circumlambebat limam. Rata igitur lingua, sanguis multus ferebat. Haec autem laetabatur, rata ex ferro aliquid auferre, do nec penitus totam linguam absumpsit.

Affabulatio.

Fabula in eos, qui in cōtentionibus se ipsos offendunt.

Agricola.

**A**gricola quidā fodiedo aurū reperit, quotide igitur terrā, ut ab ea beneficio affeētus, coronabat. Huic autē Fortuna aditās, ingratū, cur terrae mea munera attribuis, quae ego tibi dedi ditatura te? nā si tēpus immutē, &

同 上

## AESOPI FABVLAE 173

Fabula significat durationem corporis, decore meliorem esse.

Buralis.

**B**uralis à fenestra quadā pendeat, uesperitilio autē profecta rogauit causam, quare die silet, nocte canit. Cum autem ea non incassum hoc facere dixisset, nam die canendo olim capta fuerat, & propterea ex illo prudens euasit, uesperitilio ait, sed nō nunc te cauere oportet, cum nulla utilitas, sed ante q̄ capereris.

Affabulatio.

Fabula significat, in infortunijs inutilem esse poenitentiam.

Cochleae.

**R**ustici filius affabat cochleas. Cū autē audiret eas stridentis, ait: o pessimae animantes domibus uestris incensis uos canitis.

Affabulatio.

Fabula significat omne intempēstiuē factum, uituperabile.

Mulier, & ancillae.

**M**ulier uidua operosa ancillas habens, has solebat noctu excitare ad opera ad gallorum cantus. His uero assidue defatigatis labore usum est oportere domesticum occidere gallum, tanquam illum qui noctu excitaret heram. Euenit autem ipsis, hoc factū, ut in grauiora inciderent mala. Nam hera ignorans gallorum horam, temporius eas

(79) Mulier, & ancillae. (天下1. 鶏と下女の事)

## AESOPI FABVLAE 177

& in alias manus hoc tūm aurum eat, scio te tunc me fortunam accusaturum.

Affabulatio.

Fabula significat, oportere benefactorē cognoscere, atq; huic grauiam referre.

Viatores.

**D**uo quidam unā itinerabantur, & cum alter securim reperisset, alter, qui nō inuenit, admonebat ipsum, ne diceret inueni, sed inuenimus. Sed paulo post cum aggrederentur ipsos, qui securim perdidit, habens ipsam, persequentibus illis, ad eum, qui unā itinerabatur, dicebat, perijmus. Hic autē ait, perij dic, nō perijmus. Etenim & tunc, cum securim inuenisti, inueni dixisti, non inuenimus.

Affabulatio.

Fabula significat, q̄ nō fuerit participes felicitatū, neq; in calamitatibus firmos esse amicos.

Ranae.

**D**uae ranae uicinae sibi erāt. Pascebant autē altera in profundo, & pcul à uia stagno, altera in uia parū aquae habēs. Verū, cū quae in stagno, a terā admoneret, ut ad se migraret, ut tutiore cibo fruere, illa nō paruit, dicēs firmisima teneri huiusce loci consuetudine, quousq; obnigrit currū pratereuntē ipsam confringere.

Affabulatio.

Fabula significat, homines quocq; praua aggredientes citius mori, quā mutantur in melius.

in Apiarius

(83) Viatores. (天下14. 二人同道して行く事)

## AESOPI FABVLAE 179

## Apiarius.

**I**N mellariū ingressus quidam domino absente, fauē abstulit. Hic autē reuersus, ut alueolos uidit inanes, stando quōd in his erat, perscrutabatur. Apes autē de pascu redeuntes, ut deprehenderunt ipsum, aculeis percutiebant, pessimeque tractabant. Hic autē ad eas, o pessime animantes furatum uestros fauos illarum dimissistis, me uero fatigentem uestri percutistis.

## Affabulatio.

Fabula significat, sic hominum quosdam ob ignorantiam inimicos nō cauere, amicos autem ut insidiatōres repellere.

## Alcedo.

**A**Lcedo avis est solitaria, semper in maris uitam degens. Hanc dicitur, hominum uenationes cauentem, in scopulis maritimis nidificare, ceterum aliquando paritura, nidū fecit. Egressa autem ea ad pabulum, euenit mare ad uehementi concitatum uento, eleuari supra nidū, atque hoc submerso, pullos perdere. Hæc uero reuera, re cognita, ait, me miseram quæ terram ut insidiatricem cauens, ad hoc confusam, quod mihi longe est insidius.

## Affabulatio.

Fabula significat, homines etiam quosdam ab inimicis cauendo, ignaros in multo grauiores inimicis amicos incidere.

## m 1 Piscator

(85) Apiarius, (天下17. 蜜作り的事)

## AESOPI FABVLAE 189

negligunt, quæ uero aliorum sunt, exercere conantur, in infortunia incidere.

## Cancer, &amp; uulpes.

**C**ancer de mari cum ascendisset, in loco quodam pascebat. Vulpes esuriens ut uidit, accessit, ac eum rapuit. Ille deorandus ait, sed ego condigna patior, qui marinus cum sum, terris esse uolui.

## Affabulatio.

Fabula significat homines, etiam qui proprijs derelictis exercitijs, ea quæ nihil conueniunt agrediuntur, merito infortunatos esse.

## Citharædus.

**C**itharædus rudis in domo calce incrustata familiariter, ut solebat, canens, & contra resonante in se uoce, existimabat ualde canorus esse. Verum elatus super hoc, cogitauit & theatro sese committere oportere. Profectus uero ad se ostendendum, cum male admodum caneret, lapidibus ipsum explosum abegerunt.

## Affabulatio.

Fabula significat, sic ex rhetoribus quosdam, qui in scholis uidentur esse aliqui, cum ad res publicas se conferunt, nullius precij esse.

## Fures.

**F**ures in domum quandam ingressi, nihil inuenerunt nisi gallum, atque hoc capto, abierunt. Hic ab eis occidendus rogabat, ut se dimitterent, dicens, utilem esse hominibus noctu eos ad opera excitando. Hi uero dixerunt

同 上

## AESOPI FABVLAE 187

unt, haud esse reprehendendos, cum eos parentes sic educauerint.

## Maritus, &amp; uxor.

**H**abens quidam uxorem, quæ domesticis omnibus inimica erat, uoluit scire an etiam erga paternos domesticos ita afficeretur, quapropter cum rationabili pretextu ad suam ipsam misit patrem. Paucis uero post diebus ea reuersa, rogauit quomodo aduersus illos habuisset. Hæc uero cum dixisset, bubulci & pastores me suspectabant, ad eam ait: sed o uxor, si eos odisti, qui mane greges agunt, sero autem redeit, quid sperare oportet in ijs, quibus cum tota conuersaris die?

## Affabulatio.

Fabula significat, sic sæpe ex paruis magna, & ex manifestis incerta cognosci.

## Hoedus &amp; lupus.

**H**oedus derelictus à grege, persequente lupo, conuersus ad eum, dixit: o lupo, quoniam niam credo me tui cibum futurum, ne inuicunde moriar, cane tibi primum, ut saltem. Lupo autem canente tibi, atque hoedo saltante, canes cum audiissent, lupum persecuti sunt. Hic conuersus hoedo inquit, merito hæc mihi sunt, oportebat enim me cocis cum sum, tibi cinem non agere.

## Affabulatio.

Fabula significat, quæ ea, quibus natura apti sunt, negligunt.

(94) Hoedus, & lupus. (天下15. 野牛と狼の事)

## AESOPI FABVLAE 199

quodam loco dormientem uidit, hunc deuolando rapuit. Hic cum se uertisset, atque momordisset ipsum, coruus moriturus dixit, me miserum, quod tale reperi lucrum, quo etiam pereo.

## Affabulatio.

Fabula in uirum, qui ob thesaurorum inuentio nem de salute periclitatur.

## Monedula, &amp; columbæ.

**M**onedula in columbario quodam colubis uis bene nutritis, dealbavit sese, sicutque, ut & ipsa eodem cibo impertiretur. Hæc uero, donec tacebat, rata esse columbam, admiserunt. Sed cum aliquando oblita uocem emisisset, tunc eius cognita natura, expulerunt percutiendo, eaque priuata eo cibo rediit ad monedulas rursum. Et illæ ob colorem, cum ipsam non nossent, à suo cibo abegerunt, ut duorum appetens, neutro potiretur.

## Affabulatio.

Fabula significat, oportere & nos nostris contentos esse, considerantes auaritiã, præterquam quod nihil iuuat, auferre sæpe & quæ ad sunt bona.

## Monedula.

**M**onedulam cum quis cepisset, & perdem alligasset sileo, suo tradidit filio. Hæc non serendo uictum inter homines, ubi parumper libertatem nata est, fugit, in summoque nidum se contulit. Circumuoluto uero ramis uinculo, euolare haud ualens, cum moritura cisset, se-

n cum

(101) Monedula, & columbæ. (天下18. 鳥と鳩の事)

## AESOPI FABVLAE 209

liberati in laboribus, cum mingendo fluuium fecerint. Ac illi eū uerū dicere existimantes, ex illo & nunc usq; , ubi aliorum urinam uiderint asinorum, illic & ipsi circumstando mingunt.

Affabulatio.

Fabula significat, unicuiq; quod fatale est, incurabile esse.

Asinus, & uulpes.

**A**sinus indutus pelle leonis, uagabatur re/liqua bruta perterrendo. Caterum uisa uulpe, tentauit & hanc perterrefacere. Hæc autem (casu enim ipsius uocem audiuerat) ad ipsum ait: sed bene scias, quod & ego te timuissem, nisi uidentem audiuissem.

Affabulatio.

Fabula significat, nonnullos indoctos, quosque, qui extra sunt, aliqui esse uidentur, ex sua linguacitate redargui.

Asinus & ranæ.

**A**sinus ligna ferēs pertransibat paludem quandam. Lapsus autem, ut decidit, nec surgere posset, lamentabatur, ac suspirabat. Ranæ autem quæ erant in palude auditus suspirijs, heus tu, dixerunt, & quid faceres, si tanto hic tempore, quanto nos, fuisses, cum quia ad breue tempus cecidisti, sic lamenteris.

Affabulatio.

Hoc sermone uti quispiam poterit in uirum se/gnem, qui ob minimos quoque labores tristatur, cum ipse maioribus facile resistat.

Asinus

(113) Asinus, & uulpes. (天下12. 驢馬と狐の事)

## AESOPI FABVLAE 211

Affabulatio.

Fabula significat, plerisque homines ob demeritiam eos, qui nihil ad se attinent, beneficio afficere, in domesticos mala operari.

Piscator & cerrus.

**P**iscator demisso reti in mare retulit cerrū, qui paruus cū esset, supplicabat ipsum ne tunc se caperet, sed dimitteret, quod paruus foret. At cū creuero, & magnus, inquit, euasero, me capere poteris, quoniam & maiori tibi ero utilitati. Tum piscator ait, sed ego demens fuerim, si quod in manibus est, dimisso lucro, licet sit paruum, expectando magnum sperem.

Affabulatio.

Fabula significat, inconsideratum esse, qui se maioris rei, quæ inter manus est, amittat, quia paruā fuerit.

Equus, & asinus.

**H**omo quidā habebat equū, & asinū, cum aut iter faceret in uia, ait asinus equo: tolle à me oneris partē, si uis me esse saluū. Illo nō persuaso, asinus cecidit, atq; è labore mortuus est. Ab hero autē omnibus impositis ei, & ipsa asini pelle, cōquerēs equus, clamabat: heu mihi miserimo, quid mihi obtigit afflicto: quia em parū oneris nolui accipere, ecce omnia gesto, & pellem.

Affabulatio.

Fabula significat, si magni cum paruīs iungantur, utrosq; seruari in uita.

Homo, & satyrus.

o 2 Homo

(125) Equus, & asinus. (天下13. 馬と驢馬との事)

## AESOPI FABVLAE 207

Asinus, & coruus.

**A**sinus ulcerato dorso in prato quodā pascabatur. Coruo autē insidēte sibi, & ulcus percutiēte, asinus rudente ac salabat. Sed agasone procul stante, ac ridente, lupus præteriens, ipsum uidit, & dixit, miseri nos, quos si tantum uiderit, persequit, hinc autē & arident.

Affabulatio.

Fabula significat, maleficos homines, si tantū appareant, dignoscī.

Asinus, & uulpes.

**A**sinus & uulpes inita inter se societate, exiuerunt ad uenationē. Leo uero cū occurrisset ipsis, uulpes imminēs periculū uidēs, profecta ad leonē, tradituram ei asinū pollicita est, si sibi impunitatē promiserit. Qui cū dimissum eam dixisset, illa adducto asino in calles quosdā ut incidere, fecit. Sed leo uidens illum fugere minime posse, primam uulpem comprehendit, deinde sic ad asinum uersus est.

Affabulatio.

Fabula significat, eos qui socijs insidiantur, sæpe & seiplos necesse perdere.

Gallina, & hirundo.

**G**allina serpenus ouis inuentis diligenter calefacta excudit. Hirundo autē cū eam uidisset, ait, o demens, quid hæc nutris: quæ cum excreuerint à te prima iniuriā auspicabuntur.

Affabulatio.

Fabula

(116) Asinus, & uulpes. (天下39. 驢馬と狐の事)

## AESOPI FABVLAE 221

cūbum, formicæ uero dixerūt ei, cur æstate non colligebas alimentū: Hæc ait, nō eram ociosa, sed canebam musice. Tū hæc ridendo dixerūt: si æstiuo tempore modularis, nunc salta.

Affabulatio.

Fabula significat, nō oportere quenq; aliqua in re esse negligentē, ne morreat, ac periclitetur.

Vermis, & uulpes.

**Q**ui sub cæno calabat uermis super terrā egressus dicebat omnib; animalibus, medicus sum medicaminū doctus, qualis est Pædon deorū medicus. Et quomodo, ait uulpes, alios curans, te ipsum claudum non curas?

Affabulatio.

Fabula significat, nisi præsto experientia fuerit, omne uerbum inane esse.

Gallina auripera.

**G**allinam quis habēs oua aurea parientē, gratiā intra ipsam auri massam inesse, occisam alijs gallinis similē reperit. Hic multū sperans inuenire diuitiarum, & exiguis illis priuatus est.

Affabulatio.

Fabula significat, oportere contentum esse præsentibus, & fugere inexplebitatem.

Leo, & uulpes.

**L**eo senio confectus, cum suppeditare sibi cibum non posset, decreuit altu id facere. Itaque profectus in antrum quoddam, & deiectus simulabat ægotare. Aduenientes igitur anim an-

(137) Leo, & uulpes. (天下45. 獅子と狐の事)



## AESOPI FABVLAE 224

animantes uisitacionis gratia, cōprehensas deororabat. Multis igitur absumptis animantibus, uulpes ea arte cognita, accessit ad ipsū, & stans extra speluncā rogabat quomodo se haberet. Cū autē is dixisset, male, causamque rogaret, quā ob rem nō ingredere, uulpes ait, quia me uestigia terrent, omnia ad introsum spectantia, nulla retrorsum.

Affabulatio.  
Fabula significat, prudentes homines coniectura ris praeuisa pericula euitare.

Lupus, & uetula.

**L**upus esuriens circuibat quaerendo cibū, profectus autē ad locum quendam, audiuit lugentem puerulum, ei que dicentem animum, desine plorare, sin minus, hac hora tradam te luporatus igitur lupus serio loqui aniculum, expectabat ad multam horam, sed cū aduenisset uespera, audit rursus animum blandientē puerulo ac dicentē, si uenerit lupus huc, interficiemus eū sibi. His auditis, lupus eundo dicebat, in hoc iugurio aliud dicunt, aliud faciunt.

Affabulatio.

Fabula in homines, quorū facta uerbis non respondet.

Haedus, & lupus.

**H**aedus super domo quadam cum stare, uiso lupo praetereunte, conuiciabatur, & mordebat ipsum: sed lupus ait, heus tu, non tu mihi, sed locus conuiciatur.

Affabulatio.

Fabula

(138) Lupus, & uetula. (天下40. 狼と子を持った女の事)

## AESOPI FABVLAE 227

ab hostibus clamabat, ne me temere, & frustra uiri occidite. Nō enim uestrum quēque occidite nam praeter es hoc possideo aliud nihil: & hi ad ipsum dixere, ob id magis morieris, qui cū nequeas ipse pugnare, omnis ad pugna excitas.

Affabulatio.

Fabula significat, plus peccare, quam malos, ac grauis principes concitant ad male agendum.

Arundo, & Oliua.

**D**e tolerantia, & uiribus, & quiete, arundo & oliua contendebant: cum arundini oliua conuicium faceret utpote imbecillae, ac facile cedenti uentis omnibus, arundo tacendo nihil locuta est. Ac parumper prestolata, ubi acer afflauit uentus, arundo succussa, & declinata uentis facile euasit, oliua autem cum uentis resistisset, ut diffracta est.

Affabulatio.

Fabula significat eos, qui temporis, ac praestantioribus nō resistunt, meliores esse ipsos, qui cum potentioribus contendunt.

Lupus, & grus.

**L**upus gutturi ossē infixō mercedem grui praebiturum dixit, si capite iniecto, os ex guttore sibi extraxerit. Haec autē eo extracto, quippe quae procerō esset collo, mercedē efflagitabat: qui subridendo, dentesque exacuendo, sufficit tibi, ait, illa sola merces, quae ex ore lupi & dentibus saluū caput & illaefum exemeris.

p 2 Affa-

(143) Arundo, & oliua. (天下3. 稷と小麦の事)

## AESOPI FABVLAE 227

Fabula significat, plerumque & loci & tempus praebere audaciam aduersus praestantiores.

Mulus.

**M**ulus ordeo pingue factus, lasciuiebat clamans, ac dicens, pater meus est equus curfor, & ego ei totus sum similis: atque aliquando cū necesse foret ei currere, ut à cursu cessauit, patris asini statim recordatus est.

Affabulatio.

Fabula significat, etsi tempus ad gloriae promotionem ueritatem aliquem, non suae tamen ipsius fortunae obliuiscatur, instabilis enim est uita haec.

Serpens, & agricola.

**S**erpens in agricolae uestibus delitescens, sustulit eius infantē puerulū. Luctus autē parentibus, fuit magnus. At pater praemore accipit securi, egressum serpentem occisurus erat. Ut uero prospexit pariter, festinando agricolam, ut ipsum pcuteret, errauit tantum percussio foraminis orificio. Digressus autē serpens, agricola ratus serpentē nō amplius iniuriāe meminisse, accipit panem & salē, apposuitque in foramine. Sed serpens tenui sibilō ait, nō erit nobis amodo si des, amicitiae, quādiu ego lapidem uideo, tu tui filij tumulū.

Affabulatio.

Fabula significat, nullū odij, aut uindictae obliuisci, quādiu uidet monimentū, quo tristatus est.

Tubicen.

**T**ubicen exercitū cōgregans, ac superatus

p ab

(142) Tubicen. (天下7. 陣頭の貝吹き的事)

## AESOPI FABVLAE 231

Affabulatio.

Fabula significat, ne quid inconsulto fiat.

Agnus, & Lupus.

**A**gnus in alto cū stare loco, lupū inferius praetereuntē uisā, mordebat, & fera malā & crudiōrā appellabat. Sed lupus conuersus ait ad ipsum, nō tu contumelias mihi, sed ubi stas, turris.

Affabulatio.

Fabula ad eos, qui ferunt iniurias ab indignis hominibus metu sublimiorum.

De culice, & Leone.

**C**ulix ad leonem accedens, ait, neque timeo te, neque fortior me es. Sin minus, quod tibi est robur: quod laceras unguibus & mordens dentibus: hoc & foemina cum uiro pugnantia facit. Ego uero longe sum te fortior: si uero uis, ueniamus ad pugnam, & cum tuba cecinisset culix, inhaesit mordens circa nares ipsius leonis genas: leo autē proprijs unguibus dilaniauit se ipsum, donec indignatus est. Culix autē uicto leone cum sonuisset tuba, & epinicum cecinisset, euolauit. Araneae uero uinculo implicitus cū deuoraret, lamentabatur, quod cum maximis pugnas, à uili animali aranea occideretur.

Affabulatio.

Fabula in eos, qui proferunt magnos, & à paruis proferuntur.

FINIS AESOPI  
FABVLARVM.

p 4 Gabriæ

(149) De culice, & Leone. (天下19. 蠅と獅子王の事) 以上